



# 出中だより

第1号

発行 令和5年5月19日(金)

砺波市立出町中学校

## どこへ向かって歩み出すのか

校長 廣瀬 敬一

明日の休みは、どうしよう？

そうだ！ 富士山の山頂へ行こう！

とは、ほぼ、なりません。近所のコンビニへ行くのとはわけが違います。富士登山は夏のオンシーズンでも山小屋でストーブが焚かれる日があり、それなりの装備はもちろん、登山計画も必須です。つまり、そこへ安全に到達しようとするならば、準備や覚悟が必要であり、それは標高の高い山、険しい山であればなおさらです。

人生においても、「どのように生きるのか」の目指す具体があれば、何を準備し、何を為すべきかは、イメージしやすくなります。学校教育においても同様です。目の前の生徒たちの成長をどのように支援していくのかは、明確な目標があってこそです。複数の教職員が同じベクトルで効果的な支援をするためにも必要であり、学校の目指すものを保護者や地域みなさんに理解していただくことは、協力していただくために必要です。

本校の校訓「天資養活 自他共栄」と、目指す生徒像を踏まえ、「何事にも **元氣** に **取り組む生徒の育成**」を、今年度の重点目標としました。R3「**本氣**で取り組

む」、R4「**根氣**よく取り組む」、そして今年度は「**元氣**に取り組む」です。「出中생が自分の変化（成長）に気付き、実感し、自己肯定感を高められるように、我々教職員はどのように働きかけるのか」を日々追求しながら教育活動に取り組みます。

出町中学校にいるみんなで、「**元氣**に **いこう!**」です。「元氣」という言葉が誰かを悩ませるのであれば、「元氣」の意味を今一度考えたいです。「元氣」とは「心身の活動の源となる力」、「体の調子がよく、健康であること」、「天地の間であって、万物生成の根本となる精氣」を意味します。また、元通り健康に向かうことがその語源ともされています。

本校の特色を活かし、保護者や地域と連携しながら、一人一人の生徒が、**元氣**に学び合える学校づくりを推進する

この学校運営方針のもと、成長したいと願う出中生の可能性を信じ、生徒・保護者・地域みなさん等から信頼される学校を目指し、一歩ずつ進みます。

※学校ホームページ鋭意更新中→



